

I

ル

サ

レ

ム

よ

あ

ま

え

を

え

れ

る

よ

り

は

答唱

エルサレムよ、あまえを忘れるよりは

Moderato

TS

ニ部は特に記入した2小節以外、上=声(Sop. Alt.)を8小節間書く。

エルサレムよあまえを
わすれるよりーは
わたしのみぎでか

かえた(う)がよい
エルサレムをあもわす
さ... (う)のようになら

エルサレムをあもわす
さ... (う)のようになら

エルサレムをあもわす
さ... (う)のようになら

詩編 137

わたしはくちが きけなくなつた(ほう)がよい

1. バビロンの流れのほとりに(わ)り
2 わたしたちをVセリににした (も)のか

柳にVたて琴を(か)け シオンを(あ)もい すすり 泣い(て)
歌を(と)め いたける者が(な)くさみに 「シオンの歌をうたえ」とめいし(た)

3. 異国の地にあ、(て) どうしてヤウエの歌がうたえよ(う)(答唱)

男声か二部合唱でうたう時はD-moll (Re-mineur)に移調した方がいい。そうでない場合は単旋律(Unisono)でうたう。詩編の1が終った後、都合によっては答唱を入れてもよい。2と3の間は入れない。